

# 第二百五十八世天台座主に 大樹孝啓猥下ご上任



発行日  
令和4年8月1日  
発行所  
高崎市中尾町1261  
TEL.027(362)5620  
天台宗群馬教区宗務所  
発行人  
三浦 祐俊  
編集責任者  
今村 孝道  
印刷所  
芝入印刷株式会社  
TEL.027(253)4937



大樹孝啓天台座主猥下

することなく、〈忘己利他〉へ一隅を照らす〜み教を昂揚し、慈悲に溢れた社会を目指さなければなりません」と決意を語られると共に「不惜身命、戒行精進し宗祖の御誓願実現に勤める所存です」と力強く誓われました。

第二百五十七世天台座主森川宏映猥下のご遷化に伴い、第二百五十八世天台座主に大樹孝啓猥下（兵庫教区圓教寺・97歳）が新たにご上任されました。

これに伴い、猥下は延暦寺諸堂へ上任のご奉告をされ、更に皇居、京都御所、四天王寺へもご奉告されました。

そして、五月三十一日、延暦寺根本中堂で法脈相承の儀式「傳燈相承式」が行われ、宮内庁京都事務所長、関係宗派代表者、宗内門跡大寺、各教区宗務所長、各界を代表する来賓多数が見守るうちに「相承譜」へご署名なされました。

その後、お言葉があり、「祖師先徳結願の年に法灯を継承した因縁のありがたさを感じ、祖師のみ教を深く心に刻み、宗祖大師の志にお応えせねばなりません。また、地球温暖化や武力紛争、人道問題等の憂慮すべき現在の情勢へも言及され、我々はこの混迷する状況を傍観



決意のお言葉



歴代相承譜へ御署名

## 地域の寺社の魅力



群馬教区  
桑原 弘順  
主事会幹事

本職が県西部山麓にある寺院住職を拝命して四十年目に今回の調査を頂くことになりました。

も良しと思えます。近隣寺社の成り立ち文化と今日に継承頂いた先人の努力に思いを馳せれば此度の報告書の意義が実るものと思えます。

第七回浄法寺伝教大師報恩法要並びに境内清掃奉仕活動も見事に円成し、関係者のご努力に感謝しつつ自坊に落ち着くと、県文化財保護課より封書が届いており「群馬県近世寺社総合調査」の礼状とDVDが同封されておりました。

当山では令和元年十月と十一月に本堂、楼門の予備調査が行われました。今迄自坊の当たり前の風景から、建築という切り口を頂き、江戸時代初期にこの寺院を創建された中興を含め、信心し、守り、維持してこられた先人たちの歴史文化をどう調査頂けるか、とても楽しみにしていた所であります。後日、図書館でも報告書を閲覧しましたが本編・寺院・神社の三部に分かれ全一二五〇ページに渡る堂々たる内容でありました。県ホームページからもダウンロードが可能といえます。

冒頭の浄法寺については本調査が実施され、由来、沿革から、歴史ある大伽藍の様子をカラー写真、図表を用いて六ページに渡り掲載されています。報恩法要・境内清掃に奉仕され、ご参拝頂いた皆様と、教区の取り組みに御礼を申し上げます。

県と群馬建築士会が令和元年度から二年度、主に江戸明治時代初期に建てられた県内の寺社など三七一軒を調査し、報告書にまとめたという。調査は約四十年ぶりだそうです。

是非、この機会に県文化財保護課の事業と報告書をまとめ得た建築士のご努力をお汲み取り頂き、四十年ぶりの業績に眼を通すもよし、直接巡

最澄上人の命日に先立って、教区でも規模を縮小して鬼石町の浄法寺で法要と清掃活動を行いました。

## ごあいさつ



群馬教区  
神宮 直仁  
檀信徒会連盟会長

一昨年・昨年と、コロナ禍による諸事業の中止、縮小、外出の抑制等があり、会員皆様も不自由な生活を強いられ

たことと思えます。いよいよ本年は慶讃大法会の最終年度となりました。当会も教区全体の総会もできず、役員総会や書面議決等の方法で対処して参りましたが、今年六月八日、人数制限をして、各部の代表役員出席の下、教区全体の総会をJAビルにおいて開催することが出来ました。

また、六月二日、伝教大師

# 祖師先徳鑽仰大法会

## 宗祖伝教大師 御生誕一千二百五十年・東国巡錫一千二百年・一千二百年大遠忌 慶讃事業

### 第7回浄法寺伝教大師報恩法要 並 境内清掃奉仕活動



齋藤師の講演

令和四年六月二日、群馬教区多野部浄法寺大師ご尊像前にて祖師先徳鑽仰大法会を記念した、教区並びに一隅傘下団体合同の報恩法要と境内清掃奉仕活動が行われました。本年もコロナ対策のため、八十余名の参加人数で規模を縮小して行い、昨年に修復を終えて、往時の輝きを取り戻した伝教大師尊像前での法要となりました。

報恩法要は、「天台のおつとめ」・伝教大師の生涯とその徳を讃える「伝教大師和讃」をお唱えし、その後三浦祐俊群馬教区宗務所長挨拶、来賓祝辞、浄法寺への御燈明料贈呈、緑野智彦浄法寺住職より、伝教大師御巡錫の地であるこの寺を後世へも



尊像の前での法要



清掃活動

伝えるべく努力していききたい旨のご挨拶がありました。

続いて齋藤崇謙布教師会事務次長により「最澄さまのころざし」と題した法話をいただきました。

齋藤師は、伝教大師が一ヶ所に八千巻の法華経を納めた宝塔を日本各地の六ヶ所に建て、国家の安寧を祈り、「山家学生式」という規則を作成して「己を忘れて他を利する」国宝的人材の育成に寄与したこと、我々でもできる活動の一例として、ヘアドネーション（病気で毛髪を無くした方々のかつらのために、数年の間頭髮を伸ばして寄付する）を実践したお子さんの例を紹介して、「己を忘れて他を利する」精神が広がり、より良い世の中になることをお話し下さいました。

その後、境内の見学と清掃活動を行いました。境内は広く、由緒ある建物・塔が点在し、ご尊像と同じく修復された相輪様を興味深く見学し、伝教大師や道忠禪師の時代の規模を彷彿させるにふさわしい名刹であることを再認識いたしました。

## 群馬教区檀信徒会連盟・伝道師会連盟総会開催



法楽

令和四年六月八日、群馬教区檀信徒会連盟・伝道師会連盟の総会が、各部の代表役員八十二名出席の下、J A ビルにおいて開催されました。

両連盟とも、事業・決算報告がされ、新年度事業計画案・予算案等が承認されました。

各総会終了後、同一会場に集まり、三浦祐俊群馬教区宗務所長を導師に法楽となり、「伝



会議風景



講演する堀越師

う「和讃」の精神を紹介し、趣味の版画を通しての、人々の「縁」を紹介して下さいました。

当日、「ウクライナ人道危機救援募金」が呼びかけられ、寄せられた四〇、四八〇円の浄財は、天台宗「一隅を照らす運動総本部」へ送金されました。

師は、「苦」の理解と、大師の加護を願う（堀越教之時）の堀越教之師が講演されました。

師は、「苦」の理解と、大師の加護を願う（堀越教之時）の堀越教之師が講演されました。

師は、「苦」の理解と、大師の加護を願う（堀越教之時）の堀越教之師が講演されました。

シリーズ群馬の寺々 第五十回

沼田部 八幡山 華蔵院 沼田市戸鹿野町七九六 住職 齋藤祥駿

当山は沼田市戸鹿野町に在り、本尊は阿弥陀如来、脇侍に観音菩薩、勢至菩薩がある。当山の由緒は不詳であるが、

真田昌幸が隣にある戸鹿野八幡宮に参詣の際、宮曆を当時の住職が説明しているとの文献が残されていることから、

時の住職、近辺の住民により運び出され難を逃れたと言われている。現在の本堂は文久年代（一八六一〜一八六四年）に再建されたものである。

修復を終える予定である。飛び地境内には戸鹿野観音堂がある。延宝三年（一六七五年）に五センチほどの金色の聖観世音菩薩が出土し、それを祀るために御堂が建てられた。しかし盗難にあつたため、今は違う聖観世音菩薩が祀られている。また同地には宝篋印塔や墓碑が並ぶ。



華蔵院本堂

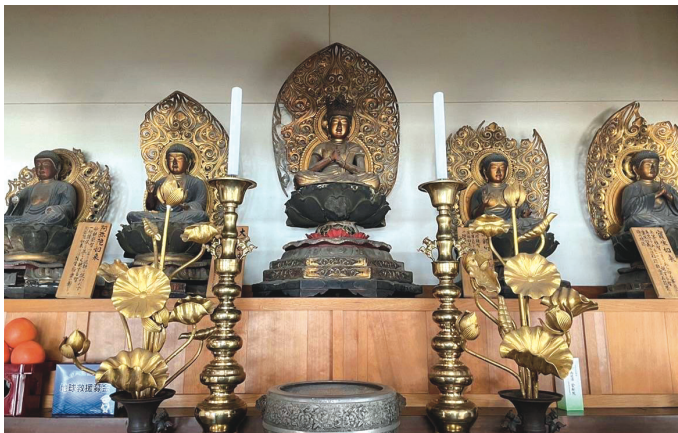
別当寺院として機能していたと考えられる。玄海和尚によつて開基され、中興正海和尚、現在十六世が護寺している。

嘉永三年（一八五〇年）の火事により焼失、本堂や

寺宝を失ったが、阿弥陀三尊は当



弥陀三尊



五智如来



宝篋印塔と墓碑



戸鹿野観音堂

群馬教区選出宗議会議員

任期満了に伴う宗議会議員選挙の結果、次の両師が再選されました。



高崎部 満勝寺 原 徳明 師



西前橋部 昌樂寺 綾小路 乗俊 師

新住職紹介



西群馬部 泉福寺 綾小路 秀純 師



富岡部 長嚴寺 河原 良親 師



北群馬部 石原寺 千葉 照峰 師



西前橋部 昌樂寺 綾小路 乗俊 師

示寂

伊勢崎部 善応寺 小川 晃毅 師 令和四年一月二十日

富岡部 長嚴寺 河原 瑩善 師 令和四年三月八日

西群馬部 常樂寺 小出 海順 師 令和四年五月十二日

# 寺院だより

## 本堂新築 高崎部法輪寺 住職 三浦興優



稚児の皆さんと

当山は、羅漢山正覚院法輪寺と称し、安土桃山期に創建され、江戸期の百五十七体の羅漢像を有し、市の重要文化財に指定され、その名が羅漢町という町名に反映されています。

今回、大正十五年建立の本堂を令和二年に解体し、新本堂の建設工事が始まりました。

檀信徒及び有縁の方々のご協力を賜り、六間四面の新本堂は約一年ほどで工事は完了しましたが、新型コロナウイルス禍のため、落慶式を二回に渡り延期し、本年四月二十四日に、教区諸大徳・来賓等ご臨席の下、保育園児による稚児行列を行い、ようやく無事に式典を終えることが出来ました。

いまだ、破損した一部の羅漢像の修復が終わっていないので、引き続き事業を進めてまいります。

## 庫裡新築 南前橋部泉蔵寺

住職 荒木 亮佑

宗祖伝教大師一千二百年大遠忌奉賛事業の一環として建立しました。



## 群馬天台青年会主催 薬師供伝法会行われる

令和四年六月二十六日(日) 西前橋部大福寺様において群馬天台青年会主催の薬師供伝法会が開催されました。

伝法大阿闍梨として延暦寺一行光坊住職の横山照泰権大僧正をお迎えし、受者四十五人へ行法が授けられました。

日程は大きく二部に分かれており、伝法ののち講伝が行われました。

伝法では受者代表として長諒順群馬天台青年会会長が、横山照泰師の前に向かい、行法を授かりました。

講伝では、薬師瑠璃光如来についてのお話や、先の伝法について



伝法の様子

の解説が行われ、受者は熱心に拝聴しておりました。受者の各位からは、「横山先生から授かった行法を実践していきたい」という決意が語られました。



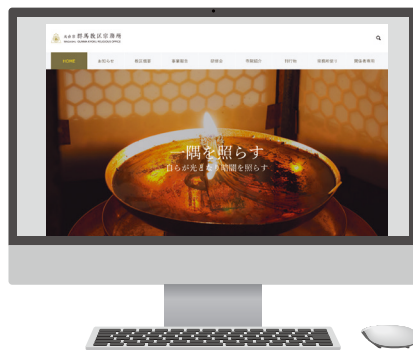
講伝の様子



講伝を受ける受者

### 天台宗群馬教区 ホームページ開設のお知らせ

教区のホームページを開設いたしました。教区の事業や、各種刊行物等を載せております。ぜひご覧いただけます。れば幸甚に存じます。



<https://gunmatendai.com>



群馬教区宗務所

## 予告

### 檀信徒祖山参拝研修会

令和四年九月二十九日(木) 十月一日(土)

### 伝道師補任祖山研修会

令和四年十月三日(月) 十月五日(水)

新編集委員

西群馬部東光院 小出行観